

教育だより

【教育委員会】

子ども議会開催

2月29日(水)、役場3階大会議室において、第8回海士町子ども議会が開催されました。福井小13名、海士小5名の6年生18名の子ども議員が、社会科や総合的な学習の時間で考えてきた「海士町の生活をより良くしていくための提案」を元氣よく発表しました。

児童はインタビューやアンケートによる調査結果をもとに、自分で作成した資料を使いながら提案しました。「東北のために、今できることをしよう」という提案では、「見た人が少しでも元氣を取り戻せるように心のこもったプレゼントを贈ろう」という思いで作った「コマージュ」を披露しました。また「海士産ファーストフードを作ろう」という提案では、イカとサザエを入れて作った「海士バーガー」を町長始め各課長に試食してもらいました。後半には、「リサイクル廃油を生まれ変わらせよう」という提案で、実際に廃油を使って作ったキャンドルを示し、サザエキャンドルに火を灯す場面もありました。これに対して

町長は、「キンニヤモニヤ祭りの前夜祭などで活用できる可能性がある」ので、観光協会にも伝えていきたい」と答弁しました。

今までの子ども議会での提案は、お願い型の発表が多かったのですが、今年度は実践型が多くみられ、自分たちでできることは挑戦しようという積極的な姿勢が印象に残りました。

最後には両校を代表して福井小6年生担任の藤原良平教諭が、子どもたちに寄せる思いと共に御礼の言葉を述べ、閉会しました。

(社会教育主事 吉山明利)



ドリームプランフェスティブレーション

3 海士中

1月13日(金)、今年もドリプラ3海士中を実施しました。3年生が総合的な学習の時間に自分の夢について考え、発表しました。発表までには、たくさん地域の皆さんに支えていただきました。これからも夢に向かって邁進する生徒を応援していきたいと思えます。

(海士中学校 永原富貴子)

※ドリプラ・・・ドリーム・プラン・プレゼンテーションの略で、夢を実現させるために「観客を感動・共感させるプレゼンテーション」を10分間で行うもの。

「感謝の気持ちを届ける」

3年 磯谷 千華

私には、将来就きたいと思っている職業が3つあります。

1つ目は医者です。小さい頃から体が弱く、よくお医者さんにお世話になってきたからです。その度に、毎日笑顔で患者さんに勇気や希望が与えられるような医者になりたいと思っています。また、祖母の願いに応えたいからという理由もありました。祖母は小さい頃から私の絶対的な味方で、いつもそばで私を励ましてくれました。自分の夢を叶えることで、祖母に恩返しをしたいと思っています。

2つ目は、看護師です。今、医療現場では看護師の数が不足しています。その現状を何とかしたいという思いがあります。また看護師は医者を支える重要な仕事でも

あります。私は人を支えたり、自分に与えられた仕事を成し遂げたりすることが好きです。このような自分の得意なことを生かせる仕事は看護師ではないかと思えました。

3つ目は、助産師です。助産師は命が誕生する瞬間に立ち会い、新しい命を受け取るお手伝いをする大事な仕事です。新生児のケアにも関わることが出来ます。大変ですが、感動も得られる温かい仕事だと感じています。

小学校の頃からずっと医者になると決めていましたが、今、私の気持ちは揺らいでいます。いろいろな方から話を聞き、他の職業にも魅力を感じるようになったからです。しかし、医療関係の仕事に就きたいということには変わりはありません。同時に、これまでお世話になった全ての人々への感謝の気持ちを、働くことで伝えていきたいという思いは、ますます強くなりました。

一度しかない人生なのだから、自分の夢を大切に、悔いの残らない選択をしたい。そして、自分の夢を叶えて絶対に海士に帰ってきたらと思っています。

私の夢は、ふるさと海士で多くの人の役に立ち、感謝や勇気、安心を届けられるような人間になることです。



海士町では、

保育園から高校までの連携教育を行っています

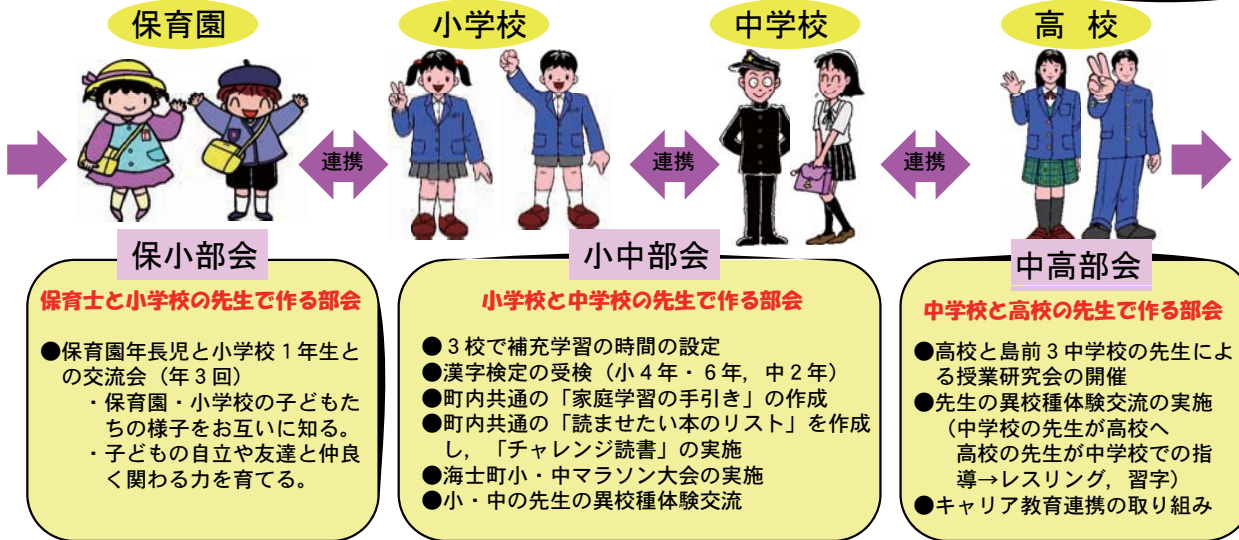
目的は、

『人間力』溢れる子どもの育成をめざす



21年度より取り組みが始まり、今年度は3年目になります。3つの部会に分かれて活動を行っています。

- 重点テーマ ①学力向上 ②読書活動 ③ふるさと環境教育



小中部会

学力向上のため、補充学習の時間の設定、漢字検定の実施、町内共通の家庭学習の手引きの作成などを町内共通事項として行っています。

また、読書活動を充実させるために、学年ごとに読ませたい本のリストを作り、チャレンジできるようにしています。



さみはなんきつよめるかな? チャレンジどしよ!

学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10

保小部会

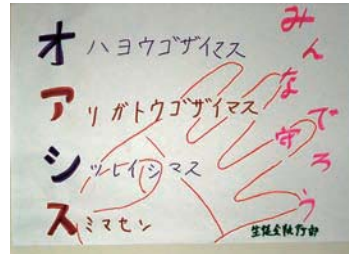
保育園年長児と小学校1年生との交流会を3回行いました。計画↓交流↓反省の繰り返しを大切にしながら、ねらいを明確にした交流活動ができました。

中高部会

島前高校は海士中だけでなく、西ノ島中・知夫中とも連携した活動を行っています。教科ごとに高校と中学校の先生がともに研究授業を行い、教員の授業力向上を目指しています。

また、中学校教員が高校や小学校の様子を知るために異校種体験も行っています。

(学校教育課 指導主事 松浦和之)



シリーズ

元気印!海士の学校

その⑤ 保—高連携教育推進協議会・各部会の取り組み

図書館だより

海士町中央図書館が開館して1年4ヶ月が経ちました。木造の明るい館内からは美しい田んぼの風景が見え、居心地の良い図書空間として、利用者の皆様にも親しんで頂いています。週末には、窓際で本を読む方、新聞・雑誌を読む方、親子連れなどで賑わうようになりました。



ガラス張り・木造の明るい館内からは田園風景が楽しめます

今回は、図書館内の様子やさまざまなサービスについて紹介します。

●本が14,000冊に充実

開館当時5,000冊弱だった本ですが、皆様のご意見をもとに毎月本を購入し、充実しつつあります。館内には、読みたい本をリクエストしていただけるリクエスト用紙も置いてあります。また、雑誌コーナー、コーヒー等を飲みながらくつろげるカフェコーナー、海士・島根に関する資料のコーナー、古本を自由に持ち帰ることができるリサイクルコーナーなど、楽しく過ごして頂くための工夫をしています。

●図書館ホームページ（HP）開設
図書館が所蔵する本の検索、メールによるリクエストや予約ができるなど大変便利になりました。1月のHPへのアクセス数は1,626件でした。

●IP告知に図書館ページ開設
開館日時や図書館の利用情報などを発信しています。「暮らしの便利情報」をご覧ください。

●図書館の利用状況

これまで町に図書館がなかったため、図書館を日常的に利用する習慣がなかったと思いますが、少しずつ利用が広がっています。本を借りるには簡単な登録が必要となりますが、現在の登録者数は367名、登録率が14%です。（そのうち、島の登録者が35名）23年度の月平均の来館者数は494名、貸出数は698冊でした。

●開館時間

平日は9時～18時、土・日・祝日は9時～17時まで開館しており、毎週月曜日が休館日です。ぜひ一度、海士町中央図書館へご来館下さい。



子どもの絵本コーナー

対象となる事故 団体活動中の事故／往復中の事故

保険期間 平成24年4月1日午前0時より平成25年3月31日午後12時まで(申込受付は平成24年3月から)

加入区分・掛金・補償金額 **掛金が改定されました** (団体活動を行う5名以上の方々で、加入区分をそれぞれ選択のうえご加入ください。)

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人3ヵ月)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (後遺)	入院 (日額)	通院 (日額)		
子ども (中学生以下 特別支援学校 高等部の 生徒を含む)	スポーツ・文化・ボランティア・ 地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など)
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段：団体活動中およびその往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円 熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒の場合、保険金額はA1区分と同様	3,150万円	5,000円	2,000円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億500万円 ただし、身体賠償は 1人 1億500万円	葬祭費用 180万円
大人	文化・ボランティア・地域活動 団体員の送迎、応援、準備、片付け	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	65歳以上 の方も加入 できます。	C	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
	子どものスポーツ活動の指導・審判 ※C区分でも加入可	AC	1,300円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円		
	65歳以上 ※スポーツ活動を行わない方はA2区分	B	1,000円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

※同一団体内で1口しか加入できません。中途加入する場合、中途脱退する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入換え、加入区分の変更はできません。
※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

インターネットからの加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。 [Web](#) スポーツ安全協会 [検索](#)

財団法人 スポーツ安全協会 島根県支部

(島根県体育協会内)

〒690-0015 松江市上乃木10丁目4番2号 島根県立水泳プール内 TEL 0852-21-5388 電話受付時間 午前9時30分～午後5時(土、日、祝日、12月29日から1月3日を除く。)
FAX 0852-26-4733

保険の詳細な内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受け付けております。
この広告はスポーツ安全保険(傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約付帯施設賠償責任保険およびスポーツ安全協会賠償責任特約(学校管理下外担保)))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際は、必ず「スポーツ安全保険のあまし」および「重要事項説明書」もよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明な点がございましたら(財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険様までお問い合わせください。
(引受幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社 (担当課) 公務第2部公務第1課
TEL 03-3515-4133 (平日9:00～17:00)
(共同引受保険会社(平成24年4月予定))
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動
日新火災 日本興亜損害 富士火災 三井住友海上
平成24年1月作成 11-T-09434

集落支援員通信

「14地区におじやまします」



『東暮らしの手帖』ができました。

東地区は町営住宅があり、Iターンの多い地区です。町営住宅は入れ替わりがあるため、住民との関わりが薄くなりがちでした。震災などが起きた場合、協力して助け合える体制を作っておきたい、それには東地区をもっと知ってもらいたい、住み続けてほしい、という願いを込めて、東地区暮らしのガイドブック「東暮らしの手帖」を作成しました。

楽しく読んでもらうために、年間行事にコメントを添えて参加しやすいように伝えていきます。また、アンケートをとったことで、「住宅の横で野菜が作れてうれしい」、「東は道が狭いので車の走行には気をつけよう」など、居住者の体験談や、持っていたら助かる必須アイテム、ゴミ券の販売場所、商店など住んですぐに役立つ情報がたくさん掲載されています。また、東区が守り続けている、金光寺の歴史と清掃活動の大切さについても述べられています。

3月より東地区のIターンの方々には配布し、住まいである地区に関心をもっていただくことで、海士町の生活がより一層、快適になれば嬉しいです。



Iターンと地下もんとの架け橋に



お買い物調査をしました。

9月に知々井でお買い物調査を実施した結果、買い物の不便さを感じている人が多いことがわかりました。

そこで町内の商店を対象としたピアリングを実施しました。各商店は、地区限定の宅配サービスや常連になると受けられるサービスがあることがわかりました。

今後は、これらのサービスを一覧にしたカタログづくりをはじめとする、きめ細やかな買い物支援に取り組んでいきたいと思っています。



今年度を振り返って

もう3月です。昨年5月から集落点検、梅作業、ピアガーデンとキンニヤモニヤ祭でうめやさん、保々見のおばあちゃん産業祭出店、東地区暮らしの手帖作り、古道具屋さん、お買い物調査：など試行錯誤しながら活動をしてきました。

たくさんの人に会い、今まで知らなかった海士町を見ることができました。集落支援は1年で終わりません。今年度の発見を活かして、来年度もみなさんの協力を得ながら、私たち集落支援員一同がんばります。

海士町の皆様、来年度も集落支援員をよろしくお願いします。



島前高校だより

「キャリア教育推進連携表彰」優秀賞を受賞

文部科学省と経済産業省が今年度、学校関係者と地域・社会や産業界の関係者とが連携・協働してキャリア教育に取り組んでいる実施主体を表彰する「キャリア教育推進連携表彰」を創設しました。

1月13日に受賞団体の発表があり、本校は見事「優秀賞」を受賞しました。表彰式が1月26日に有楽町朝日ホール（東京・有楽町）で行われるキャリア教育推進連携シンポジウム内で行われ、校長が出席しました。文科省のHPに掲載された受賞の取組み概要は、以下の通りです。

（魅力化プロジェクト 浜板健一）

○連携・協働している機関や団体、組織

（教育関係者）

海士町教育委員会、西ノ島町教育委員会、知夫村教育委員会、海士中学校、西ノ島中学校、知夫中学校

（行政、地域・社会、産業界）

隠岐島前高等学校の魅力化と永遠の発展の会（島前地域の三町村長、三町村議長、三町村総務課長、PTA会長、OBOG会会長、島前高校長等で構成）以下、「魅力化の会」という、隠岐島前高等学校魅力化推進協議会（島前地域の民間事業者、塾経営者、ボランティア団体代表、地域住民有志等で構成）以下、「推進協議会」という、隠岐國学習センター



地域学で島前の観光について話をする西ノ島町の福間さん

地域で起業することの意義を話してくださったアミタの竹本さん



○活動内容

離島であり少子化の進む島前地域において、地域の特性を活かしながら、学校が地域・社会や産業界と連携・協働し、町村長や議員・教育長等を含めた会、民間事業者や住民有志・教員で構成する実践組織、学校・地域連携型の塾など、既存の枠組みを超えた組織をつくりキャリア教育を推進している。普通科高校において、社会起業家たちによる授業やビジネスゲーム等を活用した「夢探求」、インターンシップを含め社会人基礎力を育てる「生活ビジネス」、実際の課題解決に取り組む「地域学」、観光事業を実践する「ヒトツナギ」、学習センターでの「夢ゼミ」等の授業・課外活動を行い、進学実績や生徒数の急増にもつながっている。



8月に実施したヒトツナギツアー

○連携の工夫

- ・魅力化の会の事務局スタッフ（社会教育主事、コーディネーター、事務スタッフ）による高校に駐在した協働。
- ・魅力化の会による資金や施設設備等の支援等ハード面を中心とした協力。
- ・推進協議会によるインターン先の事業所開拓や地域人材の紹介などソフト面の協力。

- ・教育委員会によるカリキュラム策定や地域資源（ヒト、モノ、コト）の紹介、授業コーディネートなどの協力。
- ・学習センターによる進路指導部や各学年の担任と連携した生徒への指導。

《山根靖司校長コメント》

他校をしのぐキャリア教育の充実、島前高校魅力化の会と地域の強力なバックアップがあつてこそできるものである。今回の受賞は、「人が宝」の島ならではの快挙であり、本校もさらなる教育の充実を図っていきたい。

